


大分市地域まちづくりビジョン

# 大南地域まちづくりビジョン フォローアップ会議 通信 第1号

発行：令和元年11月15日 大南地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

この通信は、地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

## 地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の目的

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、それぞれの地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取り組みをまとめた「地域まちづくりビジョン」が策定され、昨年7月に市長に提言されました。地域まちづくりビジョンフォローアップ会議は、地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政と一緒にまちづくりを進めるため『地域まちづくりビジョン』に掲げる事業について、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれのテーマにおいて、進捗状況を報告し、各取組の今後の進め方や課題などについて情報共有、意見交換を行うものです。



## 第1回大南地域ビジョンフォローアップ会議

■令和元年8月9日(金) 19:00~

■大南市民センター 会議室

### 開会

1. 委員自己紹介
2. 会長・副会長選任
3. 会長あいさつ
4. 議事



- (1) 会議の公開について
- (2) 地域まちづくりビジョンについて
- (3) 地域まちづくりビジョンフォローアップ会議について
- (4) 地域まちづくりビジョンに掲げる事業の進捗について (報告および意見交換)

- (5) 今後の予定(次回のフォローアップ会議)について
5. その他

### 閉会

## 第2回大南地域ビジョンフォローアップ会議

■令和元年9月3日(火) 19:00~

■大南市民センター 会議室

### 開会

1. 会長あいさつ
2. 議事
- (1) 事業の進捗について再説明、前意見の回答
- (2) 意見交換(校区别)
- (3) 校区别に出た意見の発表、まとめ
- (4) 今後の予定について
- (5) その他

### 閉会

# 将来像 あすを ひらこう 南の大地

## 提言1：だれもが安全・安心で健やかな生活がおくれるまちづくり

### (事業名) ①子育て環境の充実

- ・地域の人が活用でき、子どもが遊べる公園や広場などの充実

#### <事業の取り組み状況>

(行政)・自治会内に公園がない場合は、補助金交付制度を利用し、遊具等を備えた広場を設置することができる。

#### [会議で出された意見等]

- ・判田校区は大南地区の中で幼児数が多いので、市立「こども園」を設置して欲しい。

### (事業名) ②安全・安心なまちづくり

- ・大雨時等の一時避難所の確保(戸次地区)
- ・防災士ネットワークづくり、防災意識の啓発
- ・排水機能や防災無線など通信機能の充実

#### <事業の取り組み状況>

(行政)・避難場所等の整備は、平常時の利用を検討する中で、災害時にも利用できるよう、関係課と連携し、必要な対策や助言を行っていく。防災士同士が連携できる体制の構築を図るため、校区単位での防災士協議会の設立及び活動を支援している。電話やFAXで防災情報や避難情報を発信するシステムを導入した。  
(地域)・各校区の防災士会においては、被災地への視察や防災士会議を開催し、防災チラシの回覧も行っている。

### (事業名) ③スポーツ施設の整備などを通じ、元気な子どもたち、高齢者を増やす事業

- ・スポーツに親しむ場や機会をつくり、子どもや高齢者が一緒に利用することで、健康増進と多世代交流の促進
- ・クラブチームなどの活動拠点となる合宿所などの確保

#### <事業の取り組み状況>

(行政)・大南地区にスポーツ施設を整備する方針を決定し、令和元年度には実施設計及び用地測量を行う。  
(地域)・校区でのソフトボール大会、高齢者と小学生のゲートボール大会で多世代交流を行っている。社会福祉協議会と老人クラブの共催で、球技大会(グランドゴルフ等)を行っている。

#### [会議で出された意見等]

- ・スポーツ公園の開設にあたり、中判田駅方面からの進入道路の整備をお願いしたい。

## 提言2：地域資源を活用したまちづくり

### (事業名) ④自然を活かした農業体験、観光農業の促進

- ・大南の地の利を活かした農業体験、観光農業の促進
- ・農業生産者と消費者とのふれあいの場の確保

#### <事業の取り組み状況>

(行政)・判田地区にある大分県産業科学技術センターで、食品加工など県内企業が抱える課題について技術支援をしている。  
(地域)・吉野地区では、地域まちづくり活性化事業で芋ほり大会、枝豆収穫体験を実施している。生産者による収穫体験として、ブルーベリー狩りやトウモロコシ狩りを行っている。

### (事業名) ⑤地域交流の情報発信拠点の整備

- ・大南の魅力をPRできる道の駅のような拠点の整備
- ・地元の特産品、加工品の販売

#### <事業の取り組み状況>

(行政)・「健康といやしりの里づくり実行委員会」と協働し、イベントなどで農産品、加工品の販売を行っている。また、支所管内で生産、製造された加工品等を支所のロビーに展示し、情報発信を行っている。  
(地域)・吉野、戸次の直売所や判田朝市や戸次本町推進協議会の土曜朝市で農産品、加工品の販売を行っている。

#### [会議で出された意見等]

- ・判田地区の埋蔵文化財センターの跡地が活用できないか。
- ・地域の活性化に繋がる「道の駅」のような施設が欲しい。
- ・使用していない建屋を地域の人が集まれるようなコミュニティの場として活用したい。

### (事業名) ⑥農林資源(薬草・竹林など)を活用した地域活性化

- ・薬草料理教室や薬草マイスターによる講座(養成講座含む)の開催
- ・地域資源を活用した商品開発などによる事業の創出

#### <事業の取り組み状況>

(行政)・タケノコ生産等を目的とする竹林整備に係る事業費の一部を補助するモデル事業を大南地区で実施している。  
(地域)・竹中地域づくり協議会では、薬草を利用した特産品の開発に取り組んでいる。  
・NPO法人碧い海の会では、竹林整備や里山を拠点とした環境教育、自然体験会などを行っている。  
・大分薬草の会では、薬草の栽培や薬草マイスターによる料理教室、染色教室等を開催している。  
・JAおおいた中西部事業部柚部会ではゆずこしょうを商品化している。

#### [会議で出された意見等]

- ・竹中、河原内あたりで薬草の加工所に空家を活用したいので、情報の提供をお願いしたい。

### 提言3：公共交通網等の整備による住みよいまちづくり

#### (事業名) ⑦コミュニティバスなどを活用した買い物弱者にやさしい地域づくり事業

- ・高齢者などの買い物弱者への支援のためのコミュニティバスの運行と併せ、ワンストップショッピングができる施設の整備
- ・中判田駅を起点に大南地域を循環するシャトルバスの運行

#### <事業の取り組み状況>

(行政)・公共交通が不便な地区における、住民の日常生活の移動手段を確保する取組みとして、「ふれあい交通」を運行しており、新たなニーズが生じた場合は地域の意見をまとめ新ルートの実施を検討する。

(地域)・吉野「誠寿園」が地域貢献でほたる便(送迎無料)を実施したり、近所同士で送迎し合う相互扶助の関係が残っている。  
・判田「寿志の里」ふれあいマーケットを月2回開催(交通手段がない方は自宅までの無料送迎あり)。  
・竹中地域づくり協議会では、公民館事業等への参加者の送迎事業を実施している。

#### [会議で出された意見等]

- ・戸次の新バイパスの開通に合わせて、バイパスに大南公民館も近いことから、地元住民の生活利便と本町に地区外から来る方へのアクセスの一つの手段としてコミュニティバスを運行して欲しい。

#### (事業名) ⑧中判田駅とその周辺の整備

- ・大分南高校の生徒も利用しやすい駅とするための利便性の確保
- ・周辺道路や駅前広場の整備
- ・国道10号線の拡幅に伴う判田郵便局前交差点の改良等
- ・陸橋を無くすなど駅のバリアフリー化の推進

#### <事業の取り組み状況>

(行政)・JR中判田駅周辺の整備については、判田郵便局前交差点の改良や大南地区スポーツ施設へのアクセス道路も含め、関係機関や地元の意見を伺いながら検討を進める。

(地域)・日本文理大学の学生が「中判田駅を中心とするまちづくりプロジェクト」として調査研究を行っている。  
・大南地区振興協議会では、大分市に対して「駅及び周辺の整備」について継続して要望活動を行っている。

#### [会議で出された意見等]

- ・将来的に国道10号線を拡幅し、スポーツ公園もできるので、中判田駅を中核施設としたコンパクトシティを創ることが判田地区の活性化に繋がる。  
・中判田駅周辺を市が買って市民に開放することが出来れば、「パークアンドライド」いわゆる車を郊外に停めて、車を持たないで市街地に行くことができる。

#### (事業名) ⑨住みよいまちづくりのための道路整備(いのちを守るための道づくり)

- ・地域の生活道、県道、市道などの整備(幅員の確保)
- ・白滝橋から竹中、河原内間の街灯の整備
- ・県道大分大野線、弓立上戸次線の道路整備

#### <事業の取り組み状況>

(行政)・市道の整備については、地元要望を受ける中、道路用地等対策可能な個所について事業を行っている。街灯については、道路管理者である大分県が街灯の設置はできないが、車両への注意喚起として交通安全施設の設置を行っている。県道の道路整備については、弓立上戸次線と中判田犬飼線を実施している。

(地域)・各自治会においては頑張り集落たすく隊(市事業)、ご近所の底力再生事業を利用した生活道路の維持を行っている。

#### [会議で出された意見等]

- ・国道10号線が災害等で通行できない際の代替道路として、県道大分大野線の田尻地区から上判田、河原内地区にかけての整備を大至急進めて欲しい。

### 提言4：住みたくなるまち、訪れたいまちづくり

#### (事業名) ⑩住みたくなるまち、訪れたいまち大南を創る

- ・地域の自然、緑あふれる大地の活用
- ・大南の魅力を地域住民みんなで理解し共有するための情報提供やイベントの開催
- ・過疎地域におけるインターネット環境等のインフラ整備

#### <事業の取り組み状況>

(行政)・インターネット環境の整備については、令和2年度から未整備地区への超高速ブロードバンド整備を実施する予定であり、施工事業者の選定及び工事等に向けた準備を進めることとしている。

(地域)・地域の魅力を引き立てる仕掛けづくりについては、各校区にある「健康といやしの里づくり実行委員会」と大南支所が協働して取り組む。

(地域)・戸次本町街づくり推進協議会が、「よいやかがり火」や「街並みスケッチ大会」の開催、街並みボランティアガイド活動、「街並み瓦版」での情報発信などを行っている。  
・本宮山を守る会が、本宮山の登山道整備、景観保全の活動や登山会の開催などセラピーロードにもなっている本宮山の魅力発信している。  
・竹中ハエ釣り同好会が、「ハエ釣り大会」や竹工作教室などを開催している。  
・大野川合戦まつり実行委員会が、「戸次川原の合戦」を再現する「大野川合戦まつり」を開催している。

#### [会議で出された意見等]

- ・河原内河川プールが狭いので広くして欲しい。駐車スペースも少なく県道に駐車する車が多いため、危険であり、近くに耕作放棄地があるので駐車場を作って欲しい。
- ・天面山まつりに多くの人に訪れてもらいたいが、駐車場が少ないため天面山林道を拡幅及び駐車スペースの拡大をしてもらいたい。
- ・各自自治会で空き家の状況を確認し、それを活用することで移住者を増やしたい。

#### (事業名) ⑪企業誘致推進事業

- ・地域の実情に合った地場企業等の誘致で雇用を創出
- ・耕作放棄地などの転用や農業の6次産業化の促進
- ・多方面にアクセスしやすい利点を活かした企業誘致

#### <事業の取り組み状況>

(行政)・市産の農林水産物等を活用した加工品等の研究開発や商品化、販路拡大の取組に係る経費の一部について補助を行うとともに、セミナーを開催し、6次産業化に取り組む事業者等への情報提供やスキルアップを図る。また、地域活性化や農地の有効活用などのため農業企業の参入を促進する。

(地域)・人口減少の著しい既存集落における人口定着と活力回復を目的とした建築等(農業物加工所、農業物直売所など)の基準を設けており、過疎地域での土地利用の規制緩和が行われている。

#### (事業名) ⑫市街化調整区域内における土地利用規制緩和等

- ・過疎地域内における耕作放棄地などの土地の有効活用
- ・市街化調整区域内の未利用の土地などを市が管理、分譲するなど地域に人を呼び込む仕掛けづくり

#### <事業の取り組み状況>

(行政)・優良な生産条件を備えた農用地区内の農地については、人・農地プランや農地中間管理事業により担い手への集積を促進する。また、昨年度の土地利用に関する市民の意見をもとに、「農地転用許可制度」の運用について、農地法の範囲内で裁量の幅が広げられるよう、許可権の権限移譲を受けるとともに、農地区分の見直しなど、地域の実情を考慮し、適切な運用が行える体制を整えた。

(地域)・人口減少の著しい既存集落及びその周辺において、良好な居住環境の保全を前提に、地域の活力維持を図るため、住宅や居住者のための利便施設と必要な公共施設の整備誘導する「既存集落型」等で地区計画制度を活用できることとなっている。また、市街化調整区域の立地基準の1つである「大分市開発審査会付議基準」に適合すれば、都市計画法において建築できる用途(分家住宅、専用住宅など)となるほか、人口減少の著しい既存集落における人口定着と活力回復を目的とした建築等の基準を設けており、過疎地域での土地利用の規制緩和が行われている。

(地域)・人・農地プランを作成した判田米良地区・戸次備後地区などが、農地中間管理機構を利用して農地集積している。

#### [会議で出された意見等]

- ・戸次地区特産のごぼう加工商品の消費拡大により、耕作放棄地の対策としても栽培面積を拡大して欲しい。
- ・小規模特認校である上戸次小学校では3分の2が校区外の生徒で、校区内に転居してきたいという家庭もあるようだ。

#### ～お知らせ～

##### ■「ふれあい市長室」【大南地域】開催について

日時：1月27日(月) 19:00から 場所：大南市民センター会議室

市長が地域にお伺いし、直接、地域の皆さんと意見交換を行う「ふれあい市長室」を開催します。今回は、フォローアップ会議の内容も併せて報告し、大南地域のまちづくりについて、幅広くご意見をお伺いします。

##### ■「シンポジウム」開催について

日時：11月23日(土) 13:30から 場所：コンパルホール 3階 多目的ホール

地域まちづくりビジョンを広く市民と共有し、まちづくりの機運の醸成を図るため、子育て世代などの若い世代にも参加を呼び掛け、様々な世代が参加するシンポジウムを開催します。

■問い合わせ：大分市市民部大南支所 TEL：597-1000